

新型コロナウイルス感染症・感染拡大防止への取り組み

尼崎市・医療法人社団秀和会 野村医院・ハウスのむら 笠井 裕美（管理栄養士）

2020年1月中旬から、中国湖北省武漢市で、新型コロナウイルス感染症の患者が爆発的に増加し、その後、武漢市が封鎖されました。日本では1月28日、奈良市で武漢市からのツアー客を乗せたバスの運転手が感染し、国内初の人から人の感染が判明しました。2月3日クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号が横浜港に入港し、集団感染が判明。政府は新型コロナウイルスを「指定感染症」として2月7日施行しています。当法人では、1月中旬頃、保健所からの注意喚起から、新型コロナウイルス感染症への取り組みは始まりました。これまで、「制限されているから」と諦めるのではなく、「この状況の中でも、できることを考えよう」と医療、介護の現場は取り組んできました。感染症への取り組みは、いまだ途上ではありますが、現時点までの取り組み状況を時系列で報告し、一緒に考えてみたいと思います。